

令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番 号	①	学 校 名	盲学校
-----	---	-------	-----

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	学校見学・体験会「いくナラみるナラ盲学校」
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	中学部の特別活動、高等部の総合的な探求の時間「奈良TIME」における実習授業として実施する。 地域住民を対象に視覚障害をサポートする福祉機器の種類や操作法の紹介や本校生徒の授業発表等の取組を通して、活動に対して自主的・実践的な態度を育てることを目標に実施する。
連携・協働相手	県民だよりやチラシの配布により、県民へ周知した上で参加を希望した方
地域と共有している目標・課題等	地域住民をはじめとした他校の生徒や教職員たちを迎え、本校や生徒が使用している視覚障害に特化した福祉機器の紹介をし、視覚障害や視覚障害教育への理解の促進を図る。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
県民や地域住民への啓発活動として学校見学体験会を開催した。そのプログラムの1つに中高部生徒による学習発表に取り組んだ。発表内容は「職場体験実習」「学校紹介」「奈良の文化」等である。学校見学体験会に参加する地域住民の方々に盲学校を知ってもらうという目的をふまえ、生徒たちはどのような内容にするか、どうすれば参加者に伝わるかなどを主体的に考え、事前の発表練習に取り組み、当日を迎えた。	

2. 事業の成果と課題

生徒たちは発表練習の中で改善や工夫をしたら良い点を発見し、生徒一人一人の個性が表れる発表となった。生徒たちからは、「また発表の機会があればやってみたい」、「いろいろな発表が聞けて楽しかった」といった感想があった。人前で発表する緊張を乗り越えたという自信が芽生えるとともに、他の生徒の発表を聞くことで相手への理解を深めることができた。盲学校の存在とともに、視覚障害をもつ生徒たちの活動の様子を知ってもらうことで、視覚障害への理解につながることを期待したい。今後もこのような企画を考え、地域と共にある学校づくりに取り組んでいく。

【行事参加者の感想】

沢山の知らなかったことを知る機会となり勉強になりました。

視覚に障害があっても頑張っている姿がすてきでした。

先生の行き届いた教育に熱意を感じました。

